

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す

田辺中だより

No.2 令和5年5月2日発行

京田辺市立田辺中学校

京田辺市興戸北鉾立2-1番地

TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

学校ホームページURL【<http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/tanabe-jh/htdocs/>】

新しい仲間と「自律」を目指して！

教頭 磯貝 美智子

新緑がまぶしく、初夏を感じさせる季節になりました。新しい環境にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。5月は学年での行事があります。3年生は修学旅行、2年生は校外学習、1年生は校内学習です。各学年の状況に合わせたミッションがあります。時間の制約がある中での団体行動ですから、自分勝手な行動はできません。中学生である皆さんは、今まさに大人になるための入口に立っています。どんな場面でも自分で考えて自分で実行していかなければなりません。正しい判断や正しい行動が求められる場面も増えていきます。幼い考えやわがままな行動を捨てて、自分を律する（コントロールする）力が大切になってきます。

田辺中学校では、この「自律」を合言葉に教育活動を進めていきます。昨年度も「目標達成するために、計画を立て実行し、振り返りをして、次につなげる」ということを実践してきました。今年はさらに自分で考えて行動できることを強化していきましょう。

ここで、一つお話を紹介します。

次のような銀行があると考えてみましょう。その銀行は、毎朝あなたの口座へ 86400 ドルを振り込んでくれます。同時にその口座の残高は毎日 0 になります。つまり、86400 ドルの中で、あなたがその日に使い切らなかった金額はすべて消されてしまいます。あなただったらどうしますか。もちろん、毎日 86400 ドル全額を引き出しますよね。私たちは一人ひとりが同じような銀行を持っています。

それは時間です。毎朝、あなたに 86400 秒が与えられます。毎晩、あなたがうまく使い切らなかった時間は消されてしまいます。それは、翌日に繰り越されません。それは貸し越しできません。毎日あなたのために新しい口座が開かれます。そして、毎晩その日の残りは燃やされてしまいます。もしあなたがその日の預金を全て使い切らなければあなたはそれを失ったことになります。過去にさかのぼることはできません。あなたは今日与えられた預金の中から今を生きないといけません。だから与えられた時間に最大限の投資をしましょう。そしてそこから健康、幸せ、成功のために最大のものを引き出しましょう。時計の針は走り続けています。（中略）

そして、時間は誰も待ってくれないことを覚えましょう。昨日はもう過ぎ去ってしまいました。明日はまだわからないのです。今日は与えられるものです。だから英語では「今（現在）」を「present」といいます。

（『あした元気になるために 人生の時間銀行』吉田浩）

英語で「今（現在）」は「プレゼント」というのですね。今を生きていることに感謝し、限りある時間を有効に使えるかどうかは自分次第ということですね。先日春季大会が行われましたが、3年生にとっては最後の夏の大会につながってくる大会でした。結果をどう受け止め、次にどうつなげるか。「毎日がスタート地点」一日一日を大切にしてください。

5月は例年、最初の定期テストである「中間テスト」がありますが、今年度は5月29日から単元テスト強化週間を設け、五教科の単元テストを行います。テスト前のまとまった部活動停止等はありませんので、日々の学習の積み重ねを計画的に進める必要があります。そのためには、時間をどう使うのかをしっかりと考えないといけません。能力は個人差がありますが、与えられた「時間」はみんな平等です。タブレットの計画フォームを上手に活用してください。そして、学校での学びを家庭につなげて、深めたり広げたりすることが大切です。

綴喜地方中学校春季体育大会結果

種目名	結果
野球	優勝
サッカー	優勝
ソフトボール	優勝
ソフトテニス男子	準優勝
ソフトテニス女子	優勝
バスケットボール男子	惜敗
バスケットボール女子	準優勝
バレーボール男子	準優勝
バレーボール女子	惜敗
卓球男子	惜敗
卓球女子	惜敗
バドミントン男子	優勝
バドミントン女子	惜敗
剣道男子	優勝
剣道女子	
ハンドボール男子	準優勝
ハンドボール女子	準優勝

個人結果

ソフトテニス女子個人

第1位 井田千夏・秦岡美月ペア

第3位 川内丸のどか・八木心優ペア

バドミントン

男子ダブルス 第2位 中井嵩道・宮木舜ペア

男子シングルス 第2位 今村奏月

卓球男子

第3位 塚脇 卓朗

剣道男子

第3位 浅井 威一朗

剣道女子

第2位 橋川 紗奈

第3位 向原 渚 藤原 由珠



田辺中生の活躍



4月26日に表彰式をしました。1年生は教室（ZOOM）で参加しました。

今後の予定

5月8日（月）	部活動一斉ミーティング
5月10日（水）	交通安全教室（自転車通学者） 3年生4校時 1・2年生5校時
5月12日（金） ～14日（日）	3年生修学旅行 九州方面
5月15日（月）	3年生代休日（15・16日） 非行防止教室（1・2年）
5月16日（火）	1年生校内学習 ＊校内でレクリエーション等様々な工夫した活動を計画しています。 2年生校外学習 京都方面
5月18日（木）	府学力診断テスト（1年）
5月19日（金）	府学力診断テスト（2年） 非行防止教室（3年）
5月22日（月）	一斉委員会
5月23日（火）	府学力診断テスト（3年）
5月29日（月）	単元テスト強化週間 教育実習開始（～6月16日）
6月3日（土）	陸上 綴喜大会（夏季大会）

授業にお邪魔しました

国語科 ^{こうの ひろこ} 河野弘子先生

4月20日（木）6校時の2-5 国語の授業にお邪魔しました。2年生国語の最初の単元は谷川俊太郎「未来へ」という詩でした。単元の流れは、①「未来へ」という詩の内容を確認②谷川俊太郎が描いた15作品を読み比べて班で一つ気に入った作品を選ぶ③その詩のよさがわかるように工夫ポイントを考えて群読発表する でした。この日は工夫点が伝わるように練習して群読の発表をする時間でした。どの班も1年生の時の群読の工夫を発展させていました。



河野先生は2年生の副担任ですが、授業に対して研究熱心でいつもわかりやすい授業を心がけておられます。授業中は生徒一人一人に目を向け、困っていたらすぐにポイントを伝えるなど、誰も取り残さない授業を進めています。この日もそれぞれの群読を聞きながら、工夫点や群読から伝わる音の響きや、授業で習ったことの復習からの「気づき」を促してまとめをされていました。河野先生の国語の授業を受けると「国語好き！」が増えるというのが納得です。

国語科 ^{なばら いたる} 名原 格先生

4月24日（月）4校時の1-1 国語の授業にお邪魔しました。1年生も最初の単元は詩でした。この日は高階杞一『風の五線譜』を工夫して群読発表する時間でした。短い練習時間だったようですが、どの班もそ



の詩の意味を捉えて、工夫して群読をしていました。みんなで声をそろえるところ、大きく言うところ、リズムを意識するところ、間をとるところなど、生活班（6班）での発表でしたが、工夫ポイントがそれぞれ違って、詩の中の言葉通り「みんなできれいな曲を奏でている」様子が見られました。5班は「森のくまさん」の音程に合わせて群読をするなど、今までにない創意工夫をしていて詩の広がりや言葉の響きのよさを感じさせました。

名原先生は今年度から田辺中学校に赴任。1-7 の担任をしています。朗らかな笑顔で、生徒とのやりとりを楽しみながら、的確な指示を出していました。違うクラスで自己紹介をしていた時に「皆さんも成長期ですが、僕もどんどん成長（おなかを触りながら）しているのだ」と親しみのある感じでお話していたのが印象的です。



国語科 ^{きぬがわ な な こ} 衣川 奈々子先生

4月25日（火）3校時の3-5国語の授業にお邪魔しました。3年生の国語の授業数は週3と減ってしまいます。1・2年生で培ってきた国語の力を活かしながら発展していくことが求められます。

この日はすでに二つ目の単元のまとめに入っていました。随筆「二つのアザミ」というお話は、実際に咲いている野の花としての「アザミ」が、成長する過程で手に取った本（宮沢賢治の作品、梶井基次郎の作品）の文中に、「薊」として記され、しかも文脈が全く異なる中で使われ、違うイメージが浮かぶことに驚いたという筆者自身の経験から「言葉」に対する考えが描かれています。授業の中でも「アザミ」のように、実際の言葉の意味（知的側面）と経験や体験などが加わった人によって変わる意味（情意的側面）について考えていました。自分の体験と言葉をつなげていることで、言葉が私たちの世界を豊かにしていくのだと伝えていました。



衣川先生は現3年生と一緒に田辺中に着任したので3年目の先生です。優しい笑顔の中に芯の強さもあり是々非々の姿勢で、どの生徒にも丁寧に対応しています。男女問わず「さん」で呼び、人権を大切にされている先生です。国語の課題の中では「書く」ことに注目し、研究を深めています。

国語科 ^{なかの ともこ} 中野 知子先生

4月27日（木）5校時2-4 国語の授業にお邪魔しました。二つ目の単元に入っていました。若松英輔著「手紙の効用」という随筆でした。皆さんは最近「メール」や「ライン」ではなく、手紙を書きましたか？ また手紙をもらいましたか？ 手紙にはどんな印象があるでしょうか。今、インターネットの普及によって、あまりなじみのない手書きの手紙ですが、改めて見直すことで何か発見するものがあるかもしれません。



今回は2回目の授業で、「手紙にはどんな効用があるのか」という前回の授業でまとめた際に出た新たな問いに対してグループで考えを出し合っていました。手紙には「言葉の奥に込められた『時』を無形の意味として感じ取ることができる」という効用がありますが、どんな「時」なのか、ということをつまみ解いていっていました。

中野先生は、育休明けの勤務で、2年生の副担任です。お休みの間にタブレットによる学習が進んでいるので、必死に追いつく自分の学びとかわいい娘さんの育児との両立を頑張っています。

※国語科はこの他に1年生担当（1-3 担任）の古川先生、3年生担当の進士先生がいらっしゃいます。紹介はまたしていきます。